

# トイレコートシステム

Toilet coat system

## 施工マニュアル

### 施工箇所

#### 施工箇所

- 便器 (小便器・和式・洋式) の内側
- 手洗器の内側
- 床
- 小便器まわりのステップ部

#### 部 材

- 陶器
- 陶器タイル
- 御影石 (鏡面仕上げ)

※油汚れが常に付くような手洗器にはコーティング禁止。

### 使用薬剤・洗浄用具

#### 洗浄剤

- トイレコートシステム 酸性洗剤 [下地処理専用]
- トイレコートシステム 中和剤 [下地処理専用]
- トイレコートシステム 日常清掃洗剤 [中性]

#### コート剤

- トイレコートシステム コート剤

#### 用具類

- トイレコートシステム 研磨シート [標準タイプ]
- トイレコートシステム 研磨シート [ハードタイプ]
- 白パッド
- 洗浄剤用小分け容器 (金属製は溶解する場合がありますため、プラスチック製を使用する。)
- 洗浄剤塗布用刷毛

- ホース (便器の水切れを良くするために、便器の洗浄水は使用せず、洗い場等の蛇口から水を取るようにする。)
- コート剤小分け容器 (使い捨て)
- コート剤塗布用刷毛 (使い捨て)
- ゴム手袋
- ガムテープ
- 厚紙
- マイナスドライバー (止水栓開閉用)
- トラップ取り (トラップ取り外し用フック)
- ポリバケツ
- 灯油ポンプ (便器の水抜き用)
- 布ウエス
- ドライヤー (水分の乾燥用)
- ティッシュペーパー
- ビューミー
- ポリッシャー
- 茶パッド

### ⚠ 施工を行う前に

- 施工の際は『トイレコートシステム 施工マニュアル』に従って行ってください。
- 施工前には、薬剤・道具の使用注意事項をよく読み、必ず従ってください。
- 必ず目立たない部分で試してからご使用ください。
- 必ず保護具を着用してください。(ゴム手袋、ゴム長靴、保護メガネ、保護マスク等)
- 施工箇所以外は養生し、薬剤を周りに付着させないように注意してください。(万一付着した場合は、すぐに拭き取ってください。)

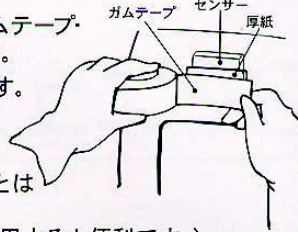
日本ケミカル工業株式会社

# ■便器・手洗器 陶器専用

# 1

## 水止め

- 洗浄後の水切れをよくするため、また、施工中に水が流れないようにあらかじめ水路を断ちます。
  - 自動センサーが反応しないようにガムテープ・厚紙で目隠し、または電源を切ります。
  - 止水栓を閉めて、タンクの水を流しきります。
- △万一、水が止まらないときは  
施工を禁止してください。
- △洗浄・水洗に用いる水は、便器洗浄水とは別の水源を利用します。  
(洗い場などからホースをつないで使用すると便利です。)

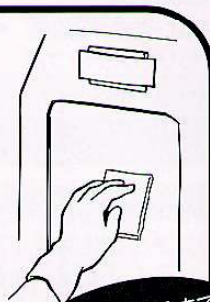


# 2

## 洗浄&水洗

### 中古品

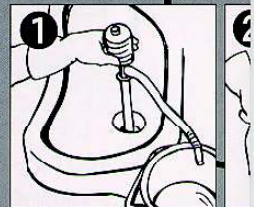
- トラップ、目皿、便器の「水がたまる部分」の  
浸け置き(15~30分)&洗浄  
酸性洗剤で浸け置きし、  
研磨シート[ハードタイプ]で洗浄後、水洗い。
- 便器 内面の洗浄  
刷毛で、酸性洗剤を塗布(2~3分放置)し、  
研磨シート[ハードタイプ]で洗浄後、水洗い。
- 便器 外面の洗浄  
日常清掃洗剤と白パッドで洗浄後、水洗い。
- 配管の洗浄  
日常清掃洗剤と白パッドで洗浄後、水洗い。
- 手洗器の洗浄  
水と研磨シート[標準タイプ]で洗浄後、水洗い。



### 未使用品

- 便器、手洗器共に全体を  
日常清掃洗剤と白パッドで洗浄後、水洗い。

- △薬剤を施工箇所以外に付けないでください。  
(付いたらすぐに水洗いし、拭き取ります。)
- △必ず目立たない部分で試してからご使用ください。  
特に濃色品については注意してください。
- △目皿底等に溜まった水も灯油ポンプ等で完全に抜いてください。
- △洗浄後は必ず水洗し、汚れ、洗剤を除去してください。
- △酸性洗剤の小分けはプラスチック容器を使用してください。
- △研磨シートは必ず薬剤(又は水)と併用してください。



# 3

## 乾燥

- キレイな布、紙ウエス等で拭き上げ、完全に乾燥させます。  
(ドライヤーを使用すると、乾燥時間が短縮でき、便利です。)
- △コート剤は、乾燥前に水分と接触すると性能が低下します。
- △目皿底等に溜まった水も灯油ポンプ等で完全に抜いてください。
- △確認は素手で行います。  
(ゴム手袋をしていると、乾燥状態を確認できません。)
- △水を完全に除去できない部分は、コーティングはしないでください。
- △結露するときは、コーティングはしないでください。

# 4

## コーティング

# 5

## 乾燥 (コート被膜の完成)

# トイレコートシステム

Toilet Coat System

- コート剤を小分け容器に取り、刷毛で塗布します。(便器1基当りの使用量:約30cc)
- △気温5℃以下のときは、施工を禁止してください。
- △薬剤を施工箇所以外に付けないでください。(付いたら、すぐに拭き取ります。)
- △コート剤は空気中の水分と反応し、すぐに硬化を始めるので、手早く、一度塗りで施工してください。
- △刷毛、小分け容器は…



- 新品を使用してください。(繰り返し再利用せず、使い捨てにしてください。)
- 約20分毎に新品と交換してください。(コート剤も一緒に交換してください。)
- △コート剤を小分けするとき…
- 必要な量だけ小分けしてください。
- 容器のフタは開けたらすぐ閉めてください。
- 余ったコート剤は、容器に戻さないでください。

△水を完全に除去できない部分のコーティングは注意してください。

## 【水を完全に除去できない部分のコーティング方法 例:洋式便器の底など】

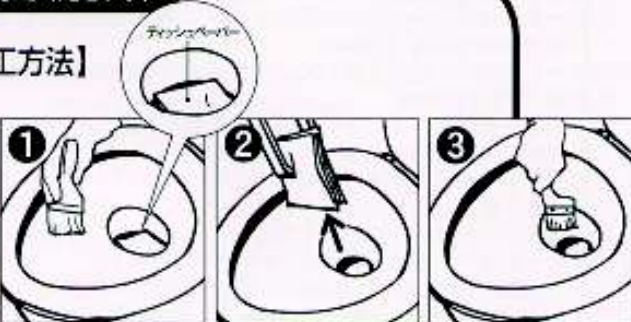
- ①水溜まりにティッシュペーパーを水面が見えなくなるまで詰めます。
  - ②コート剤を塗布し、流れ込みが止まったらすぐにティッシュペーパーを取ります。
- △ティッシュペーパーを取るとき、水がコート剤塗布部分に垂れないように注意してください。



△コート剤は極端に厚くなると痛み・シワ・割れ等が発生します。(便器の底部にコート剤が溜まって厚くならないように注意してください。)

## 【便器底部等のコート剤が溜まりやすい部分の施工方法】

- 和式、洋式、トラップ着脱式小便器
- ①塗布前に、底部にティッシュペーパーを敷いておきます。
- ②塗布後、底部へのコート剤の流れ込みが止まったらすぐに、ティッシュペーパーを取ります。(多量に残っている場合はもう一度吸い取ります。)
- △このときコート剤をたらさないようにしてください。
- ③刷毛で手早く平滑になるようにならします。



- 目皿式小便器
- ①配管の水を抜きます。
- ②コート剤が流れ込まないように穴をティッシュペーパーでふさぎます。
- ③流れ込みが止まったらティッシュペーパーを取ります。
- △このときコート剤をたらさないようにしてください。

## 【コート剤の剥離方法 万一、コート剤を剥離したいときは…】

- 便器 研磨シート[ハードタイプ]
- 手洗器 研磨シート[標準タイプ] で水研ぎしながら削り取ります。

### 乾燥時間の目安

気温	使用OK	清掃OK
20℃~	40分	1日
10~19℃	2時間	2日
5~9℃	3時間半	3日

△指で触れてベタつきがなくなるまで水分との接触は厳禁です。

# 6

日常清掃

- 日常清掃洗剤と白パッドで洗浄
- △「メンテナンスフリー」ではないので必ず日常清掃を行ってください。
- △洗剤・パッド等は、ケンマ剤を含まないものを使用してください。

# 7

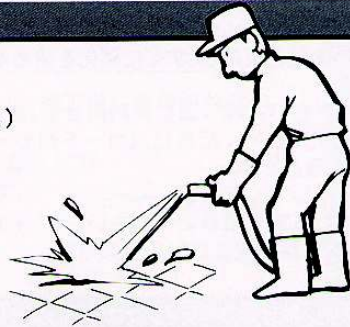
再コーティング

- 約1年で寿命です。1年経過後したら、再コーティングしてください。(寿命は、利用状況・日常清掃方法等により異なります。)
- 酸性洗剤と白パッドで洗浄後、「3.乾燥」以降の工程に同じです。
- 万一汚れが頑固な場合は、酸性洗剤と研磨シート[標準タイプ]で洗浄します。

# 床 タイル、御影石 “鏡面仕上げ”

## 1. 中和処理&洗浄&水洗

- ① 洗浄面全体を水で濡らします。
- ② 目地の保護のため、中和剤を刷毛で洗浄面に塗布します。
- ③ 2~3分放置後、ホースで水洗します。(中和剤を除去してください。)
- ④ 酸性洗剤を刷毛で洗浄面に塗布し、汚れを除去してください。  
 タイル:ポリッシャー、ピューミー、茶パッド等で洗浄。  
 御影石:研磨シート[標準タイプ]で洗浄。
- ⑤ ホースで水洗し、汚れ、薬剤を除去してください。  
 △ 薬剤を施工箇所以外に付けないでください。  
 (付いたらすぐに水洗し、拭き取ります。)
- △ 洗浄後は必ず水洗し、汚れ、洗剤を除去してください。



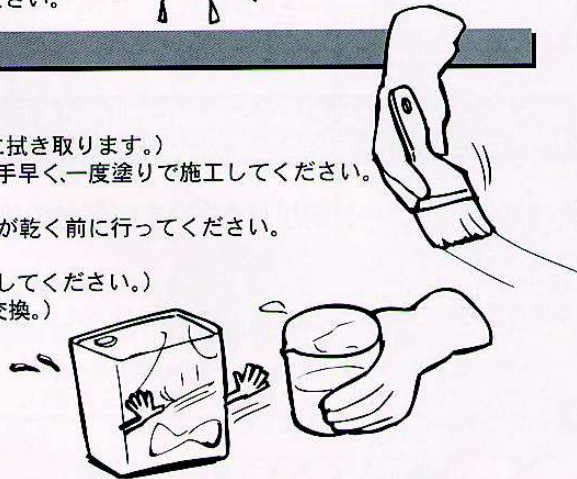
## 2. 乾燥

- スクイジー、キレイな布で拭き上げ、水分を除去します。
- △ コート剤は、乾燥前に水分と接触すると性能が低下します。  
 △ 確認は素手で行います。
- △ 目地の部分までしっかり乾燥させます。  
 目地の乾燥は、天気の良い日に、半日以上自然乾燥させてください。



## 3. コーティング

- コート剤を小分け容器に取り、刷毛で塗布します。
- △ 気温5℃以下のときは、施工を禁止してください。
- △ 薬剤を施工箇所以外に付けないでください。(付いたらすぐに拭き取ります。)
- △ コート剤は空気中の水分と反応し、すぐに硬化を始めるので、手早く、一度塗りで施工してください。  
 (1㎡当りの使用量:約45cc)
- △ コート剤の吸い込みが激しく、2度塗りする場合は必ず、表面が乾く前に行ってください。
- △ 刷毛、小分け容器は...
  - 新品を使用してください。(繰り返し利用せず、使い捨てにしてください。)
  - 約20分毎に新品と交換してください。(コート剤も一緒に交換。)
- △ コート剤を小分けするときは...
  - 必要な量だけ小分けしてください。
  - 容器のフタは開けたらすぐ閉めてください。
  - 余ったコート剤は、容器に戻さないでください。
- △ コート剤は極端に厚くなると縮み・シワ・割れ等が発生します。  
 また、厚すぎるとコート剤の凹凸が目立つ場合があります。

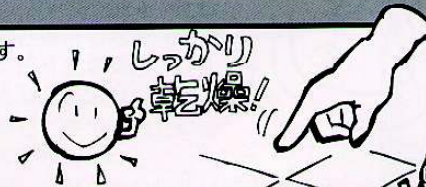


## 4. 乾燥→コート被膜の完成

- △ 指で触れてベタつきがなくなるまで水分との接触は厳禁です。
- △ 可能な限り乾燥時間をとってください。

乾燥時間の目安

気温	25℃~	20℃~24℃	10℃~19℃	5℃~9℃
歩行(清掃)OK	6時間	1日	2日	3日



## 5. 日常清掃

- モップ洗浄
- △ 「メンテナンスフリー」ではないので必ず日常清掃を行ってください。
- △ 洗剤・パッド等は、ケンマ剤を含まないものを使用してください。
- △ ポリッシャー等の衝撃が強い洗浄器具は使用しないでください。



## 6. 再コーティング

- 約1年で寿命です。1年程経過したら、再コーティングしてください。  
 (寿命は、利用状況、日常清掃方法等により異なります。)
- 酸性洗剤と白パッドで洗浄後、「2.乾燥」以降の工程に同じです。
- △ 万一、汚れがガンコな場合。  
 タイル:ポリッシャー、ピューミー、茶パッド等で洗浄。  
 御影石:酸性洗剤と研磨シート[標準タイプ]で洗浄。



日本ケミカル工業株式会社

〒424-8558 静岡県清水市吉川813  
TEL 0543-45-3478

\*このカタログに記載されたデータは1998年6月現在のものです。\*外装・仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。